

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22101	公衆衛生学 Public health program	太田貴久	✓	応用	2	必修	2前期

科目の概要
 公衆衛生とは病気を予防し、寿命を延ばし、健康と良き生活をもたらす科学と技術である。組織化された地域社会の努力で衛生的な環境を保ち、感染症を制圧し、病気の早期診断と予防を行い、個人への健康教育等によって人々の生活の質を高めることを目的としている。この授業では「社会・環境と健康」を重点に取り扱う。加えて、社会福祉や医療制度及び介護保険などの福祉と医療分野にも触れる。これはディプロマポリシーの②と③に相当する。これらを身につけるため、どのような法体系や制度によって行政の発動があり、それによってどのように国民の健康が守られているかを学修する。また、授業を通して栄養士として不可欠な知識に焦点を当てて深く学び、科学的根拠に基づいた考察を行うことで、私たちの栄養・食生活の改善ができる能力を身につける。これは、ディプロマポリシーの④と⑤に相当する。
 ★本科目は臨床現場における調剤、授業経験を有する教員が公衆衛生学に関する実務についても講義し、栄養士としての専門性を学修できる科目である。

学修内容	到達目標
① 環境汚染と健康影響及び環境衛生、保健統計の概要について学ぶ。 ② 疫学、生活習慣と健康、がんや循環器疾患など主要疾患について学ぶ。 ③ 感染症とその予防、精神疾患、社会保障について学ぶ。 ④ 医療制度、福祉制度、地域保健、母子保健について学ぶ。 ⑤ 成人保健、高齢者保健、産業保健、学校保健制度について学ぶ。授業を通して、pisa型学力の獲得を目指す。	① 大気汚染や水質汚染と健康及び人口動態・静態統計、生命表について概要を説明することができる。②、③ ② 根拠に基づく医療 (EBM)、健康日本21 (第二次)、主要疾患の罹患率について概要を説明することができる。②、③ ③ ノロウイルス感染症などの感染症対策、精神障害者の医療、社会保障の概念について説明することができる。②、③ ④ 保険医療制度や社会福祉事業及び母子保健事業の概要と保健所の役割について説明することができる。②、③ ⑤ 特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害、学校保健安全対策について概要を説明することができる。授業を通して、pisa型学力を活かすことができる。②、③、④、⑤

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	主体的に予習や復習をし、公衆衛生に必要な多くの知識を理解して得られた情報を整理する。授業内容に疑問点を見つけた時は、自己学習など積極的に行動して解決できる。
	働きかけ力	
	実行力	図書館やインターネット等で論文や関連書籍を見つけて読むことができる。主体的な予習・復習により得られた知識を整理し、自らの目標に向けて専門性を高めることができる。
考え抜く力	課題発見力	疾病対策に対する課題を発見し、具体的対策を明確にすることができる。疑問点や理解不足の内容について、調べた内容をノートにまとめることができる。
	計画力	
	創造力	健康を維持するために、どうすれば良いかを創造する。
チームで働く力	発信力	健康維持と健康増進についての情報を発信することができる。
	傾聴力	講義を集中して受講し、意見や質問をすることができる。学習した知識を基に、自らの意見を述べるることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献
 テキスト：「カレント社会・環境と健康 改訂公衆衛生学」北田善三・須崎尚編著 建帛社 価格2,500円＋税
 参考文献：「国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書の各年版」（財団法人厚生統計協会、第一出版ほか）
 「健康・栄養科学シリーズ社会・環境と健康 改訂第6版」辻一郎・吉池信男編著 南江堂

他科目との関連、資格との関連
 他科目との関連：社会福祉概論、公衆栄養学
 資格との関連：栄養士、医事管理士

学修上の助言	受講生とのルール
新聞やテレビなどで報道される「社会・健康と環境」に関するニュースや記事に関心を持ち、保健・福祉・医療・介護に関する情報を収集して、自分なりの考えをまとめて授業に臨むこと。	各授業の前に、前回の内容をしっかり復習しておくこと。Public Health Mindを身につけるために、教科書や授業ノートだけでなく、書籍や論文を読んだり、インターネットや新聞などからも情報を得る習慣をつけること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	次の各項目について基礎内容を理解し、基本概念や語句の理解を試す問題を出題し評価する。 ・生態系の中の人間生活、環境汚染と健康影響及び環境衛生、保健統計の概要を理解していること。 ・疫学研究の方法、生活習慣と健康、がんなど主要疾患の罹患率を理解していること。 ・感染症とその予防、精神疾患、社会保障と行政の仕組みを理解していること。 ・医療制度、福祉制度、地域保健、母子保健について基礎的知識を得ていること。 ・成人保健、高齢者保健、産業保健、学校保健制度について、各々の制度の概要を理解していること。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	・成果発表により、毎週の学修内容について理解度を把握する。出題範囲は、各時点までに学修した内容とする。 ・出題形式は記述及び口述とし出題範囲はその都度指示する。 ・学修内容①～⑤に係る課題を提示する。書籍や論文、インターネットや新聞などから情報を得て意見や考察をまとめる。 ・具体的な作成要領は授業で指示する。 ・成果発表するために作成した提出物は、丁寧に取り扱い、棄損や汚れ、脱落がないように整理する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら進んで予習や復習をし、公衆衛生における予防医学について理解する。 （実行力）図書館等で論文や関連雑誌を見つけて読むことができる。 （課題発見力）疾病予防に対するこれからの課題を発見する。 （創造力）健康維持をするにはどうすれば良いかを創造する。 （発信力）健康維持と健康増進についての情報を発信することができる。 （傾聴力）講義を集中して受講し、意見や質問をすることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 大気汚染・水質汚濁と健康、人口静計、生命表について具体的に説明することができる。</p> <p>② 根拠に基づく医療、健康日本21（第二次）及び主要疾患の罹患状況について、具体的に説明することができる。</p> <p>③ 感染症の感染症対策、精神障害者の医療、社会保障の概念について、分かりやすく説明することができる。</p> <p>④ 保険医療制度や社会福祉事業の概要、保健所の役割及び母子保健事業の概要を具体的に説明することができる。</p> <p>⑤ 特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害及び学校保健安全対策について具体的に説明することができる。</p> <p>★小テスト、成果発表、社会人基礎力を総合した結果 S（秀）＝①＋②＋③＋④＋⑤が模範的である。 A（優）＝①＋②＋③＋④＋⑤が優れている。</p>	<p>① 大気汚染・水質汚濁と健康、人口静計、生命表について説明することができる。</p> <p>② 根拠に基づく医療、健康日本21（第二次）及び主要疾患の罹患状況について、説明することができる。</p> <p>③ 感染症の感染症対策、精神障害者の医療、社会保障の概念について、説明することができる。</p> <p>④ 保険医療制度や社会福祉事業の概要、保健所の役割及び母子保健事業の概要について説明することができる。</p> <p>⑤ 特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害及び学校保健安全対策について説明することができる。</p> <p>★小テスト、成果発表、社会人基礎力を総合した結果 B（良）＝①＋②＋③＋④＋⑤が普通レベルである。 C（可）＝①＋②＋③＋④＋⑤がやや劣る。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・健康の基本概念や定義を学ぶ。 ・予防医学の特徴を学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	WHOの健康の定義が説明できる。 一次予防・二次予防・三次予防について特徴が説明できる。	(予習)教科書p(1-9)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	地球環境の成り立ち ・地球環境の成り立ちについて学ぶ。 ・地球環境と生態系について学ぶ。 ・国際的な環境政策について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	地球環境や生態系について特徴が説明できる。 国際的な環境政策が説明できる。	(予習)教科書p(10-25)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	保健統計(1) ・人口動態統計と人口動態統計について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	人口動態統計と人口動態統計の方法、基本的なデータについて説明できる。	(予習)教科書p(26-38)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	保健統計(2) ・平均余命について学ぶ。 ・様々な疾病統計について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	平均余命の意味が説明できる。 各疾病統計の要点が説明できる。	(予習)教科書p(26-38)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	生活習慣と健康(1) ・運動政策について学ぶ。 ・悪性新生物について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	健康日本21(第2次)における運動政策を説明できる。 運動の予防医学的な利点が説明できる。 科学的根拠に基づくがん予防について説明できる。	(予習)教科書p(53-83)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	生活習慣と健康(2) ・悪性新生物について学ぶ。 ・循環器疾患について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	科学的根拠に基づくがん予防について説明できる。 循環器疾患における診断上重要な検査値、合併症等が説明でき、科学的根拠に基づく予防方法が説明できる。	(予習)教科書p(80-90)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	生活習慣と健康(3) ・循環器疾患について学ぶ。 ・脂質異常症と肥満について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	循環器疾患における診断上重要な検査値、合併症等が説明でき、科学的根拠に基づく予防方法が説明できる。 脂質異常症の基準値が説明でき、科学的根拠に基づく予防方法が説明できる。	(予習)教科書p(80-90)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	日本の社会保障制度の仕組み(1) ・介護保険制度について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	介護保険制度の仕組みとその利用方法、介護事業の概要について説明できる。	(予習)教科書p(136-143)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	日本の社会保障制度の仕組み(2) ・医療保険制度について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	医療保険制度の仕組みや、国民健康保険と被用者保険の違いについて説明できる。	(予習)教科書p(111-117)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	日本の社会保障制度の仕組み(3) ・医療保険制度について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	医療保険制度の仕組みや、国民健康保険と被用者保険の違いについて説明できる。	(予習)教科書p(111-117)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	地域保健と健康 ・地域保健法について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	地域保健を支える組織、保健所と地域保健センターの違いについて説明できる。 地域保健従事者について説明できる。	(予習)教科書p(122-126)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	母子保健と健康 ・母子保健法について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	母子保健事業、母子健康手帳、乳幼児健診について説明できる。	(予習)教科書p(126-133)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	産業保健と健康 ・労働安全衛生法について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	産業保健の目的と制度について説明できる。 労働災害、業務上疾病について説明できる。	(予習)教科書p(143-152)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	障害者福祉と健康 ・障害者総合支援法について学ぶ。 ・精神保健福祉法について学ぶ。	講義と質疑応答、成果発表 口述及び記述による成果発表を実施する。	障害者総合支援法のサービスの内容について説明できる。 精神疾患の種類や疫学、精神保健対策について説明できる。	(予習)教科書p(98-105, 118-122)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	学校保健と健康 ・学校保健安全法について学ぶ。	講義と質疑応答、発表と演習、授業の総まとめ 口述または記述による成果発表、プレゼンテーションを実施する。	学校保健の概要、児童・生徒の健康、学校保健従事者の役割とその働きが説明できる。	(予習)教科書p(152-157)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力